

平成 29 年度 第 1 回霧島市食育推進検討委員会 会議要旨

開催日時	平成 29 年 7 月 31 日（月） 14:00～15:30		
開催場所	国分シビックセンター公民館 3 階 大会議室		
出席委員	原園委員長、宮川委員、潟山委員、松木委員、川野委員、千葉委員、外山委員、藤谷委員、有村委員、安留委員、隈元委員		
事務局	林健康増進課長、吉村健康づくり推進室長、中村グループ長、上小園サブリーダー、濱崎主査、溝口主査 石神学校給食課長、中村主幹 今吉農政畜産課農政第 1 グループ長、山下主事 島木すこやか保健センター副所長、東郷主査、徳重主任技師		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0 人
議事			
<p>(1) 健康きりしま 21（第 2 次）・霧島市食育推進計画（第 2 次）評価及び霧島市食育推進計画（第 3 次）について</p> <p>(2) 平成 28 年度食育推進事業実績及び平成 29 年度食育推進事業計画について</p> <p>(3) その他</p>			
協議結果等の概要 委 ：委員 事 ：事務局			
<p>(1) 健康きりしま 21（第 2 次）・霧島市食育推進計画（第 2 次）評価及び霧島市食育推進計画（第 3 次）について</p> <p>⇒ 事務局が資料に沿って説明。委員からの主な質問は次のとおり。</p> <p>委： 資料の見方が良く分からない。資料 1 2 ページの「朝食をほとんど毎日食べる中学 2 年生の割合」が減少、食事（朝食）を 1 人で食べる子どもの割合の減少（中学 2 年生）も減少しているのは、今まで一人で食べていた子どもが食べなくなったのか。関係性がわからない。</p> <p>「児童・生徒の夕食では「一人で食べる」が 4.6%」となっているが、どこの数値からか。また、「核家族化や共働きの増加」となっているが、5 年間で実際に増えたという指標があるのか。</p> <p>事： 「児童・生徒が 1 人で食べる割合」の数値については、児童・生徒アンケートの「あなたはいつもどのように夕食を食べていますか」で「一人で食べている」の 4.6%を記載している。また、核家族化や共働きの増加は、霧島市のデータはない。全国の調査から引用している。</p> <p>委： 核家族化や共働きの霧島市の調査データを出していただきたい。</p> <p>事： どのデータをとるのが良いのかを協議して次回の検討委員会の時には確実な裏付けを入れた計画の骨子案に繋げたい。</p> <p>委： 「塩分摂取を控えている者の割合の増加」で達成していないとなっているが、霧島市民の現状として塩分を過剰に取っているのか。現状が適切な塩分摂取をしていれば、塩分摂取を控えることによる低体温の問題から色々な病気を引き起こす可能性もある。その点からやたらと減塩を勧めるのはどうなのか。</p> <p>事： 霧島市民の塩分摂取量の調査のデータは把握できていない。国民栄養調査が昨年度始良市であった。同じような調査で今年度 9 月に県民健康調査で溝辺地区が対象になっ</p>			

ている。その調査結果が得られるかもしれない。

委： 以前、霧島市の福山地区が国民栄養調査で対照になった時は、塩分摂取の割合は高かった。

委： 児童・生徒のアンケートの実施仕方がよく分からない。学校に依頼されたのか。各家庭に配布されたのか。

事： 対象者数を決めて、学校に割り振って依頼した。学校に依頼したので、家庭には配布していない。

(2) 平成 28 年度食育推進事業実績及び平成 29 年度食育推進事業計画について
⇒ 事務局が資料に沿って説明。委員からの主な質問は次のとおり。

委： イベントがある場合には、日付と参加人数が入っていると実績がわかりやすいと思う。

委： 政畜産課に質問。K-GAP やオリンピックに向けて J-GAP とかあるが、GAP を取得して海外に輸出されるような方もいらっしゃるが、この推進などはどのような状況か。資金もかかるので補助金はどうなっているか。

事： 霧島市内で 17 品目ぐらい K-GAP を取得されている。J-GAP はお茶の方が 12 工場程取得されている。G-GAP については、取得されたという話は聞いていない。お茶の輸出のために G-GAP を取得されようとしている。今現在、霧島市で補助をしている状況は無く、個人でされている状況。GAP を取得しようとされる方に何らかの補助が出来ないか検討しているところではあるが、今現在は出来ていない。

(3) その他

委： 学校で「かみかみメニュー」の時には残食量が多いと聞いているが、しっかり噛ませるメニューを普段と同じ時間で食べさせれば、必然的に残食が増える。そのメニューの日は給食時間を少し長くすることは出来ないか。

しっかり噛んで食べさせるにはどうすれば良いかと考えているが、子どもたちに考えさせるという視点をもって取り組むことは出来ないか。

委： 中学校の給食時間は 30 分間であり、30 分の中で、準備から食べて片付けまで。食べる時間を確保するために、準備の時間を短くするような工夫をしている。事前に献立表で「かみかみメニュー」の告知や、校内放送でしっかり噛んで食べるように促している。給食時間の 5 分延長はなかなか出来ない。学校によっては、35 分とされている学校もあるので、働きかけをしていきたい。

委： 学校の給食時間を 5 分延長するのは、本当に難しい。以前 3 年がかりでやっと 5 分延ばしてもらえた。延ばして良かったことは、給食の残食量が 1/3 に減った。食べる時間が無くて残してしまうということがあったと思う。

会議資料	<p>【配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none">○会次第○平成 29 年度霧島市食育推進検討委員会委員名簿○霧島市健康・生きがづくり推進における各種委員会の設置に関する要綱○計画策定の趣旨、位置づけ、策定体制、計画期間、スケジュール○健康きりしま 21（第 2 次）の概要○霧島市食育推進計画（第 2 次）の概要○健康きりしま 21（第 2 次）及び霧島市食育推進計画（第 2 次）評価結果○平成 28 年度の食育の取り組み実績及び平成 29 年度の計画（食育担当三課）○平成 28 年度の食育の取り組み実績及び平成 29 年度の計画（関係課）○市民アンケート結果（食育関係抜粋）○国の「第 2 次食育推進基本計画」と「第 3 次食育推進基本計画」との比較
------	---